

2 「学ぶ力」を育む学習指導



ICT等を効果的に用いて言語活動の充実を図るなど、多くの学校で対話的な学びの実現に向けた工夫を施し、思考力、判断力、表現力等の向上に努めています。また、目標と指導と評価の一体化を図りながら、新学習指導要領を踏まえた授業づくりや学習評価の工夫・改善に努め、実践を積み重ねている学校が増えています。

「学ぶ力」は、生涯にわたって学び続けるための基盤となるものである。児童生徒にこの力を育てていくためには、何よりも教師が**分かる授業づくり**に努め、自らの学習を調整しながら**主体的に考え表現**できる児童生徒を育てることが大切である。その際、**基礎的、基本的な知識及び技能の確実な習得**と、これらを活用して課題を解決するために必要な**思考力、判断力、表現力等の育成**とのバランスを図るとともに、**学ぶ意欲**を高めることが重要である。

特に、習得・活用・探究という学びの過程を質的に高めていくために、言語活動を一層充実させるなど、**主体的・対話的で深い学び**の実現を図る必要がある。

(参考資料) ②-①



目標と指導と評価の一体化

◎ 児童生徒一人一人に「学ぶ力」を育むために、教師が**学習の目標を明確にし、目標を達成させるための指導及び指導に生かす評価**という視点を重視すること。

①目標 ねらいを明確にした分かる授業

- 児童生徒の実態を踏まえて、**身に付けさせたい力**を確認する。
- 単元計画における本時の位置付け**を確認し、ねらいの提示の仕方を工夫する。

②指導 実現状況の把握と指導の工夫・改善

- 評価規準に照らして、一人一人のよさを認めながら、児童生徒の姿を適切に見取る。
- 児童生徒の多様な反応を基に個に応じた支援をするなど、ねらいを実現するための手立てを工夫し、指導の改善を図る。

③評価 評価の改善・充実

- ねらいの実現状況や学習内容の定着の様子を適切に評価し、授業改善に生かす。
- 評価の計画を立て、評価場面を精選する。

※ダイジェスト版参照

(参考資料) ②-②③④⑩⑫⑬⑭



学び合いのよさや学びの手応えを 実感できる学習活動

◎ 各教科等で習得した**基礎的、基本的な知識及び技能**を活用した**問題解決的な学習等の充実**を図ること。その際、**児童生徒が学ぶことの楽しさや達成感を味わう**など、**主体的に学ぶことのよさを実感したり、言語活動を通して、各教科等の「見方・考え方」を働かせながら自らの考えを広げ深めたり**できるようにすること。

◎ **各教科等の特質に応じた言語活動の充実**を図ること。その際、**各教科等の目標を達成させる**という視点を大切にし、単元を見通して意図的に言語活動を位置付け、系統的、計画的に実践すること。

言語活動の充実を図るために

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～

言語活動を取り入れる目的を明確にする

自力解決

個人で考える場面

- 活動の見通しを持たせる。
 - 考える視点や例の提示
- 考えを持たせる。
 - 根拠や理由の明確化
- 考えを表現させる。
 - ノート指導やワークシートの工夫

集団解決

集団で学び合う場面

- 話し合う目的や視点を明確にする。
 - 出し合う、まとめる、確かめる、比べるなど
- 考えを広げ深められるようにする。
 - 問い返す
「理由を尋ねる」「聞き返す」「揺さぶる」
「共通点や相違点」
 - 考えや発言をつなぐ
「他の児童生徒に」「全体に」「教材に」
 - 立ち止まり、全体での確認・共有
- 学習形態を工夫する。
 - ペア、グループ、一斉等

※場面や順序については、授業のねらいに応じて設定

◎ 児童生徒が自身の学びや変容を自覚できるように、学習活動を通して何が分かったのか、何ができるようになったのかなどの視点を明確にして、**ねらいを基にした振り返り**の充実を図ること。

(参考資料) ②-④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫



授業力向上に向けた研修の充実

◎ **全校体制による授業づくりや研究協議**を実践し、授業力の向上に努めること。その際、重点化、焦点化した課題や授業研究における目指す子ども像の具体的な姿を共有した上で授業参観や研究協議を行うなど、教師一人一人の**授業改善に向けた研修の充実**を図ること。

◎ 各教科等の特質や学習過程を踏まえ、ICTを効果的に活用しながら、**主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善**に努めること。

(参考資料) ②-⑮



学習指導に関する参考資料へのQRコード